



三郷小学校



令和2年2月6日(木)

学校通信 第13号

三郷小学校 校長 梶原 直樹

学校ホームページも是非ご覧下さい。 <http://syou.oita-ed.jp/hakatu/misato/>

学年の取組が光った 学校公開日

1月28日は、今年度最後の学校公開日でした。学年の1年間の成長ぶりがよく分かる内容であったと思います。地域の方々にもお手伝いいただき、子どもたちの目が輝くものとなったようです。

1・2年生「昔ながらの遊びでふれあい」

1, 2年生は、合
同で昔の遊びをしま
した。たくさんのサ
ポーターの方々にご
協力をいただきました。
た。



お手玉、竹トンボ、風ぐるま、折り紙でした。今は、ほとんど見かけなくなった遊びばかりです。今はお手玉ができるお母さん方も少なくなっているのではないのでしょうか？数珠玉集めをよくしたものです…。

今回は、お手玉、竹トンボは事前に作ってくださっており、たくさん遊ぶことができました。風ぐるまはフーフー吹くのでは物足りず、走り回っていました。

3年生「ひょうたんの絵付け」

これまで、長きに渡り苗植えからタネ出し、絵付けと指導してくださっている佐々木政幸さん指導のもと、親子で絵付けをしました。下絵をひょうたんに写し描きをし、マジックで色つけも行いました。子どもより、親の方が真剣になっている家庭もあり、楽しい時間を過ごすことができました。



絵付けをした物に立派に編み込んだ紐をつけ飾れるようにしていただきました。

4年生「森林体験学習のまとめ」

1年間森林体験学習で学んできた森の働き、森を育てる、森と海のつながりなどについて、グループに分かれて発表しました。自分たちで写真を探し、スライドの小見出しを考え、しっかりと発表できていました。この日は、大分県北部振興局から2名の方が視察にみえて、森林体験学習の学びの様子を見ていただきました。



森を育てる第一歩として、泉 一徳先生の指導のもと、どんぐりをポットに植え付ける体験も行い、今後は育った苗を植林する活動へとつなげていきます。

5年生「地域の偉人(先人)について学ぶ」

中津が生んだ、大分の偉人福沢諭吉について学びました。諭吉の学問のすゝめに残された言葉や偉業について学び、歴史背景や立志した思いなどを考え、自身の姿と対比させるなどして現在の生活にも触れていきました。



6年生「たばこ被害と禁煙サポーター」

タバコの害をもとに、健康被害について学習しました。大分県から専門の職員が様々な資料や写真とともにタバコの健康被害をプレゼンしてくださいました。

最近では、喫煙する大人が減ってはいるものの、自分たちの体にどのような被害があり、どのように身を守っていくか、また、喫煙被害の恐ろしさをしっかりと考えることができました。



自分の健康を守ることから始まり、家庭や社会の健全な環境に意識をもてる学習ができました。



三郷小学校



学校ホームページも是非ご覧ください。 <http://syou.oita-ed.jp/nakatu/misato/>

令和2年2月6日(木)

学校通信 第13号

三郷小学校 校長 梶原 直樹

昨年の雪辱を果たし、 今年は優勝だ！

諭吉かるた大会

今年こそは「優勝！」と意気込んでいます。昨年は、惨敗し涙で終えましたが、今年こそはと放課後児童クラブに再入して、真剣に練習しています。大会は8日(土)ですので、最後の1週間は毎日昼休みに特訓して最終調整に余念がありません。守山達夫さんが基本から指導をしてくださいました。

追い込みの1週間は渡邊 熙さんが毎日指導を続けてくださいました。参戦する子どもたちは、口々に「優勝」の2文字を叫んでおります。楽しみです。頑張れ三郷小！

真の善行賞

子どもたちは、「三郷っ子スピリッツ」などで勉学以外にもたくさんの頑張りをしています。集会などでいつも言うことですが、言われてするあいさつではなく、やり直しを言われてする大きな返事ではない頑張りこそが真の力だと言うことです。

スピリッツの取組も、5項目からそれぞれ特に頑張るポイントを示した「一点突破」で頑張っています。

そんな日々を送っている中、私は退庁時に国道沿いの正門前(信号横)を必ず通ります。その時にいつも思っていたのですが、「子どもたちが登下校するための小さい通用扉が、きちんと閉まっている」のです。用務員さんが夕方閉めているのだろうと思っていましたが、どうもそうではなさそうなので、子どもの下校時にそっと観察してみました。

なんと言うことでしょうか！自分が最後だろうと思われる児童が、足を止めて閉めている

ではありませんか！！

しかし、担任の指導かと思い、全職員に聞いてみましたがそうではありませんでした。何度か観察してみると、どうやら一人の仕業ではないことが分かりました。すぐさま、児童集会で確認できた善行者を全校に紹介し讃えました。他にもいないかと確認すると6年生を中心に10名ほどの子どもが名乗り出てくれました。

感動です！本当に素晴らしい行為です。誰にも指示されず、誰に認められるためでもない行為こそ『至高の行為』で価値のあるものであることを子どもたちに話しました。自尊心を高め、このような善行が増えることを願って止みません。

家庭や地域でも共有していただき、豊かな心をもつ三郷っ子を育てていきましょう。

作法(文化)に学ぶ キャリア教育



先日の学校公開日に合わせて子育て講演会を行いました。今回は、いつも私たちがお世話になっている、わらし屋さんの女将さん中島夕起子さんをお願いしました。演題は『開運~お箸の作法』。

ご自身が、当時まだほとんどいなかった女性の板前さんの修行の話からお箸の正しい作法についてとても分かりやすく話して下さいました。とてもよいお話で、単にお箸の正しい持ち方だけでなく、『所作』『社会人としての心の持ち方』『躰』など、身を乗り出して聞き入ってしまいました。子どもたちにも聞かせたいと職員からも出て、3月に全校児童に聞かせたいと再度お願いをしました。

やはり、身をもって体験してきた事は、説得力があり、心に響きます。三郷っ子の学びの一助になればと思っています。

